

一月六日 師團ノ配備變更ニ伴ヒ通信隊主力ハ  
首里ニ移動シ之ヲ以テ通信隊ノ首里ニ移動ヲ  
完了ス

一月十八日 師團司令部ハ首里ニ移動ス通信隊ハ通  
信中樞ヲ首里ニ轉移シ各部隊間ノ通信連絡  
ニ任ズ

一月二十一日

ハ二二〇空襲警報發令中ノ所一二四〇敵艦載  
機六機那霸上空ニ來襲飛行場及其ノ附  
近ヲ銃撃シタル後脱去ス

一二二〇空襲警報解除通信隊被害ナシ  
又通信隊ハ特設防衛通信隊要員(沖繩縣  
立第二中學校生徒 無線六名  
有線二名)ノ教育ヲ擔  
任シ本二十一日ヨリ教育ヲ開始ス

一月二十二日 敵機動部隊近接中トノ情報ニ依リ  
〇六三〇空襲警報發令セラル  
〇七〇〇ヨリ敵艦載機F六Fグラマン戦闘  
機及SB二Cカーチス爆撃機延約七四〇機  
波狀的ニ來襲主トシテ飛行場港湾施設等  
ヲ銃爆撃ス  
通信隊ハ通信中樞ヲ洞窟内ニ開設輻輳セル  
通信連絡ニ任ズ  
二〇五〇空襲警報解除サル  
本空襲ニ於ケル通信隊被害左ノ如シ  
飯野隊 輕傷  
一月三十日 通信隊ハ〇八三〇ヨリ一〇二〇ニ亘  
リ師團長ノ防衛隨時檢閲ヲ受檢ス

二月十四日、十七日 諸情報ヲ綜合スルニ南西諸島  
ハ十五日拂曉以降敵機動部隊ノ大規模空襲ヲ  
十八日以降上陸攻撃ヲ受ル算大ナリト判断セラ  
ル  
通信隊ハ師團命令ニ基キ有線中隊ヲシテ爾後ノ  
構成立ニ重要通信線ノ確保ニ無線中隊ヲシテ  
師團司令部一各部隊間ノ無線連絡ノ準備ヲナ  
サシメ戦闘準備ノ萬全ヲ期シアリシモ敵機動部  
隊ハ十六日〇六〇〇ヨリ一六二一ノ間延約一四〇〇機  
ヲ以テ主トシテ關東地區並ニ濱松飛行場ヲ攻撃  
スルト共ニ十六日〇六〇〇頃ヨリ硫黃島ニ對シB二  
C七、D一六ヲ以テ艦砲射撃ヲ實施中ニシテ敵  
機動部隊ハ關東、東海地區ノ各飛行場ヲ制壓  
シ、重カヲ以テ硫黃島上陸作戰ニ直接協力

シ此ノ間別ニ一部ヲ以テ中部以西及南西諸島ニ對  
シ航空撃滅戰ニ出フル算無シトセズノ情報ノ下  
至嚴ナル警戒裡ニアリタルモ十七日ヨ九五〇丙號  
戰備解除トナリ原態勢ニ復飯シ爾後ノ防衛  
戰鬪準備ヲ促進ス